

ほしがうまれたよ

わんわん



ほしがうまれたよ

わんわん





うみのちかくに
ロボットがすんでいました。



でも、うみのなかはこわそうです。



ある日、うみべにかめがいました。
かめは、ひなたぼっこをしていました。

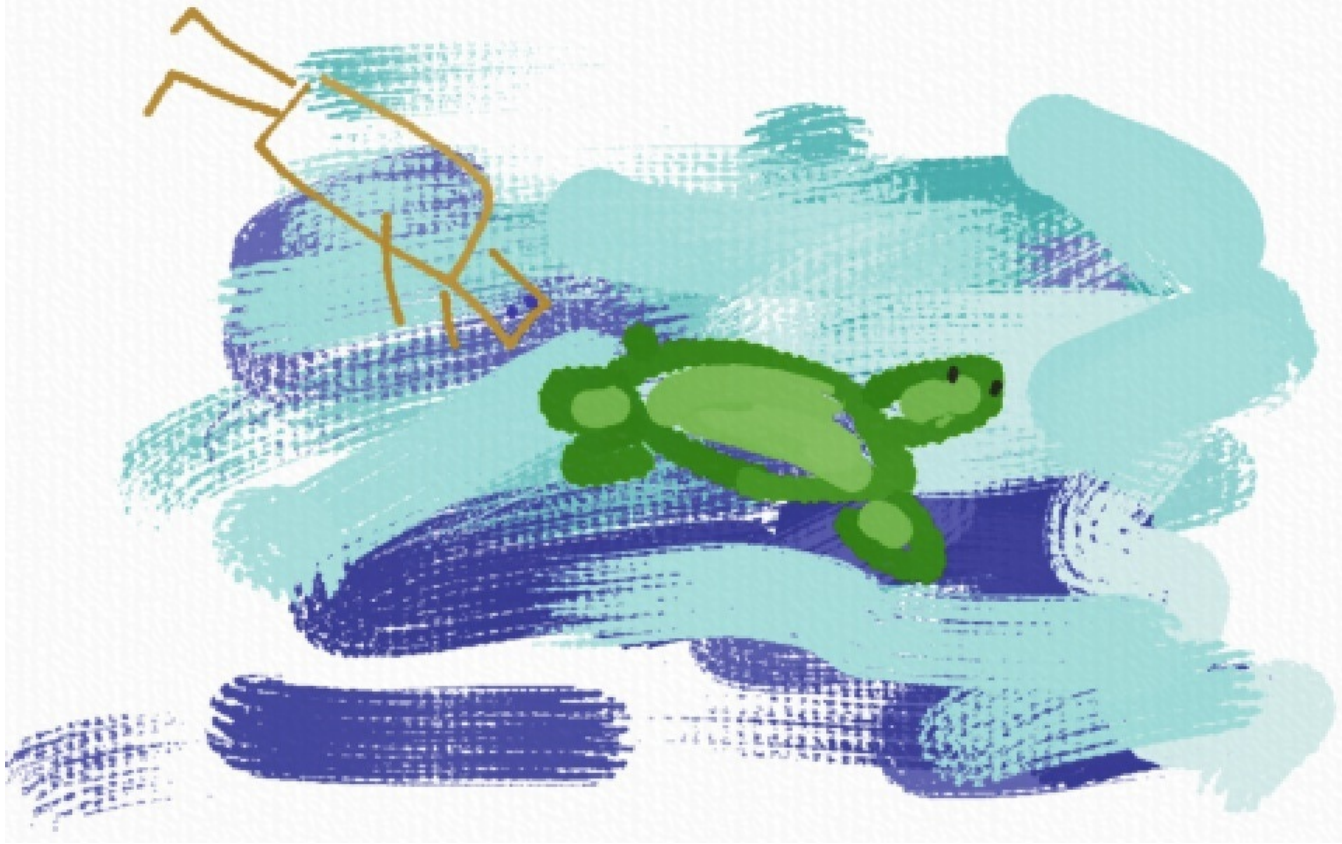


ロボットはかめにたのみました。
『かめさん、ぼくをうみに
つれていってくれないかい?』

かめは、いいました。
『もちろんつれていくよ!
うみのなかはとってもきれいだよ』



かめとロボットはうみにはいりました。
ロボットはいいました。
『ああ、うみにはいるのははじめてだよ』



かめはいいました。『ここが、うみのなかだよ』
きれいなさかながたくさんおよいでいます。
ロボットはいいました。『ほんとうにとってもきれいだ』



さかなたちとたくさんあそんで、
ロボットとかめはかえってきました。
『とってもたのしかった！』

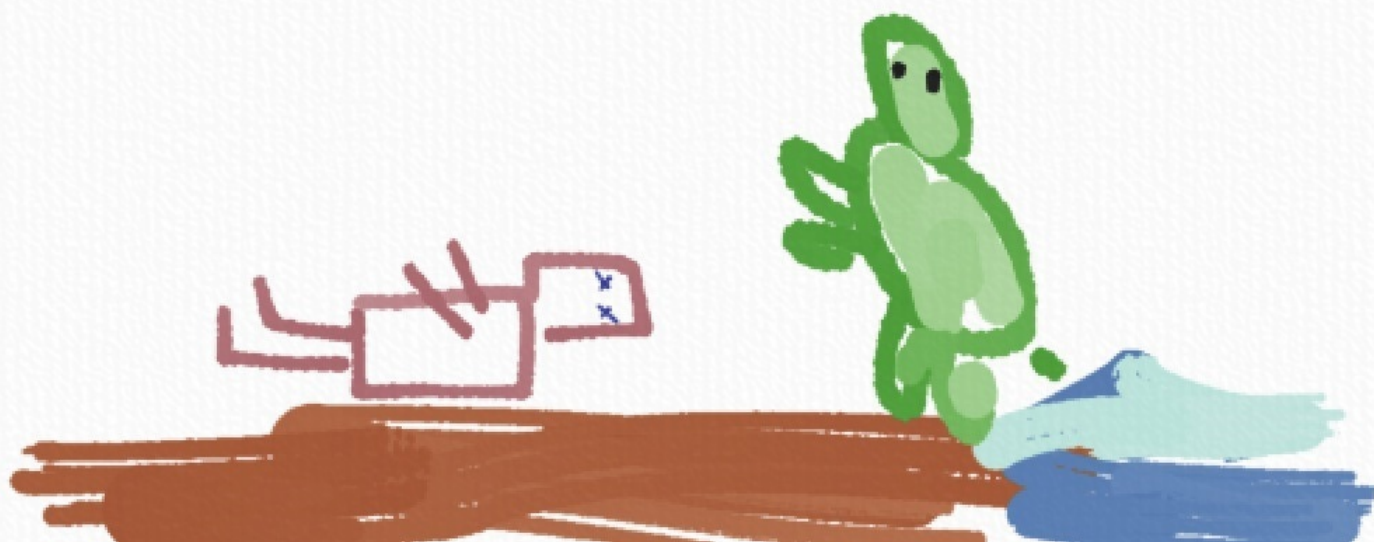


すると、とつぜんロボットはねころんでしまいました。
かめはききました。

『ロボットさん、どうしたの?』

ロボットはいいました。

『なんだか、さびちゃったみたいだよ』



『ロボットさん、ちょっとまってね』
かめはふたたび、うみにもどりました。



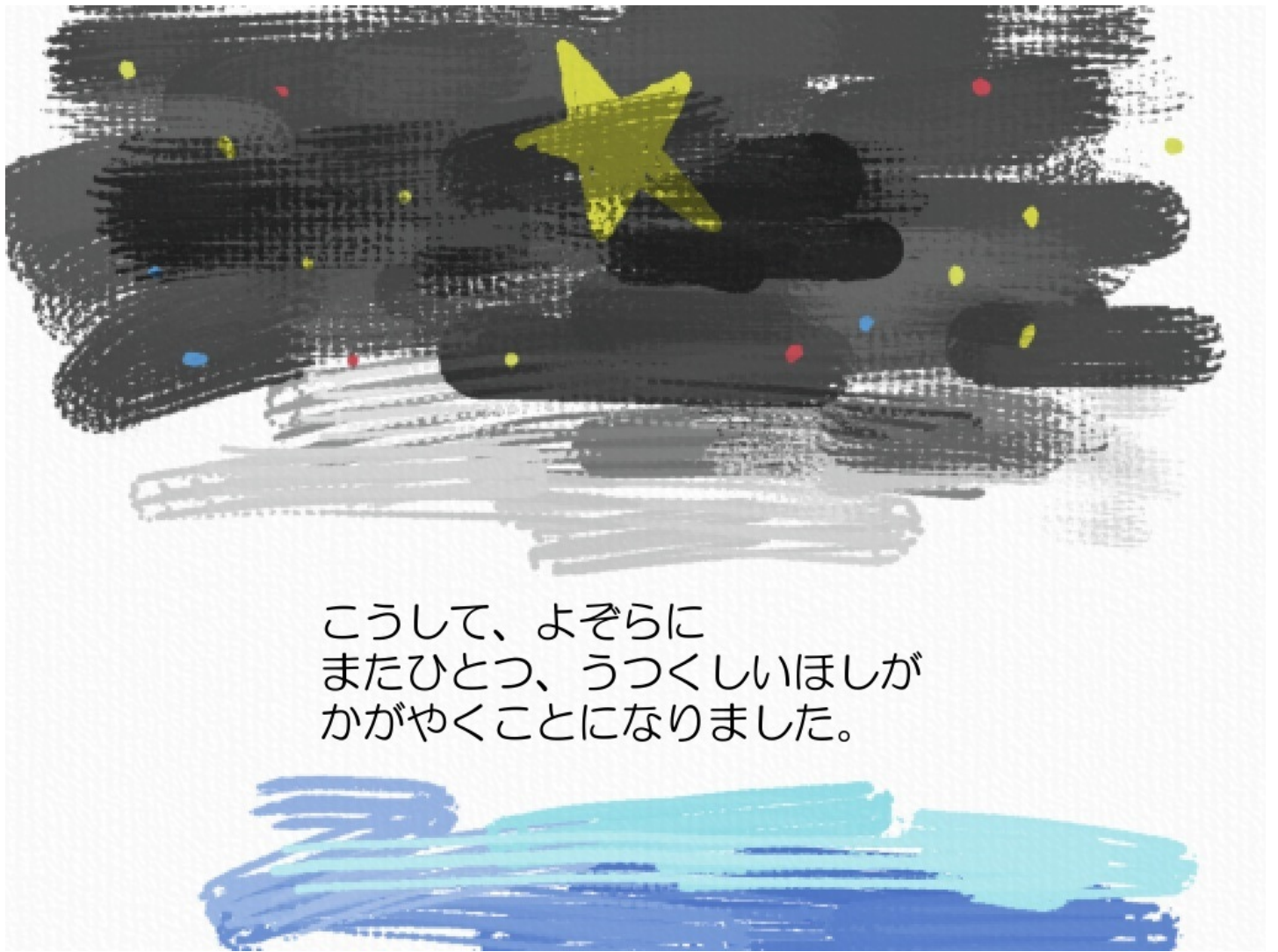
すこしすると、かめはもどってきました。
かめは、ほしのかげらをもっていました。
『ロボットさん、これでもうだいじょうぶだよ』



ロボットはほしを
もちあげました。
すると、すぐに
げんきになりました。



『かめさん、ありがとう』
きねんにこのほしを
そらにかざっておくよ。
ロボットはうれしそうに
いいました。



こうして、よぞらに
またひとつ、うつくしいほしが
かがやくことになりました。